

障害者雇用に関する研究大会 in おかやま

～ A型事業を通じた障害者雇用の現状と課題
そして今後に向けて～

〈公益財団法人 橋本財団助成〉

現在、全国で就労継続支援A型事業を利用される障害者は、平成22年度の約1万人から6倍以上となる6.6万人の利用者数があり、障害者が地域で安心して暮らし、活躍出来る社会基盤(社会自立支援システム)の重要な役割を担っています。しかしながら、残念にも2017年7月以降に発生したA型事業所の経営破綻や全国で7割近くにのぼる同事業関係者の指定基準違反(利用者賃金に必要となる売上高の確保不足)の改善が思うように進まず、多くの関係者が長い間不安を感じる事となりました。また、昨年来からの行政機関等による障害者雇用の水増し問題も重なり、今後において取り組むべき障害者雇用率の引き上げや働き方改革への対応に多くの課題を抱えていると考えます。近年の国のまとめでは、これまでの間においては、各就労支援機関の充実や企業における障害者雇用の意識の変化、ノウハウの蓄積他により、着実な進展が図られたとされていますが、現状における就職者の障害特性の多様化への対応は、まだまだ不足していると思っています。そのため、今大会においては、今後における障害者の希望や特性を踏まえた働き方を実現してゆくための各関係者個々に期待される"役割"を議論し深めていくこととしています。

- 日 時 令和元年 6 月 22 日 (土) 10 : 00 ~ 16 : 00 (開場 9 : 30)
- 会 場 岡山県医師会館(三木記念ホール)
〒700-0024 岡山市北区駅元町19番2号 電車JR岡山駅中央改札口から徒歩約3分
- 対象者 A型事業経営者(職員)、教育・行政関係者、就労支援関係者 他
- 定 員 300名 ※定員に達した場合のみご連絡いたします。
- 主 催 NPO法人 就労継続支援A型事業所協議会
- 共 催 (社福)山陽新聞 社会事業団
- 後 援 岡山県、岡山市、倉敷市、岡山県教育委員会
(一社)岡山県手をつなぐ育成会、(社福)岡山市手をつなぐ育成会
(NPO)岡山県自閉症協会、岡山県知的障害者福祉協会
公益財団法人 橋本財団、(一社)岡山県中小企業診断士会
公益社団法人 認知症の人と家族の会 岡山県支部
(NPO)就労継続支援A型事業所全国協議会

